

## 北神けいろうの国政報告：2月号

○いつも大変お世話になっています。

政権交代後、民主党政権が行ってきた「行政改革」をご報告いたします。リーマンショックや東日本大震災などで税収が落ち込む中、メリハリのある「予算の組み替え」を行うとともに、可能な限り「身を削る」改革を断行してきました。

### これまでの行政改革の実績(政権交代後)

○国家公務員の定員を3年間で、1万5000人削るとともに、1800億円の人件費を削減しました。

○独立行政法人に対する支出を、3年間で7000億円削減するとともに、埋蔵金を2兆4000億円国庫に返納しました。

○特別会計の予算を10兆円から8兆4000億円の削減しました(注)。

(注) 歳出純計額から国債償還費、社会保障給付費、地方交付税交付金などを除いた額を比較。

○官僚の天下り・再就職

①役所の斡旋による天下りは全廃しました。

②「役所の斡旋によらない、自発的な」再就職数は半減になりました。

1400人(平成21年度) ⇒ 700人(平成22年度)

③独立行政法人向け再就職の比率も大幅に低下しました。

42%(平成21年度) ⇒ 28%(平成22年度)

### これまでの行政改革により捻出した金額

公務員人件費	1800億円
独法支出削減	7000億円
独法埋蔵金	2兆4000億円
特会歳出削減	1兆6000億円
<b>【合計】</b>	<b>4兆8800億円</b>

### さらに行政改革を推進します！

○現在、国家公務員人件費を「7.8%、2900億円削減」するための法案を提出しています。その成立のため、引き続き野党の協力をお願いしていきます。

○独立行政法人を40%削減(102法人を65法人以下)し、徹底したコスト削減を進めます。

○国会議員定数「80削減」を提案しています。一票の格差是正とともに、定数削減を実現するため、ねばり強く野党の協力を求めていきます。